

みくびだより

平成13年12月1日

御首神社社務所

御挨拶

謹啓 師走の候、皆様方には愈々御健勝の事とお慶び申し上げます。

今春五月、皇太子妃殿下におかせられては御懐妊の吉報を宮内庁より拝して、全国の神社に於いて安産のご祈願を齎行致し、ご経過を安じ奉る中、去る十月二十六日御者帯の儀が恙無く行われた由を漏れ承り、安堵致しております。十一月下旬から十二月初旬に御出産のご予定でございますが、この社報が皆様のお手元に届く頃には目出度くご出産遊ばされ、全国民挙げて慶賀申し上げていことでしょうか。

さて、米国では九月十一日午前九時頃、ニューヨーク世界貿易センタービルとペンタゴン・国防総省ビルへハイジャック機が突入と言う前代未聞の同時多発テロが発生しました。死傷者、行方不明者がビル内や地上と合わせて五千人を越えると云われておりますが、この世界中を揺るがす大きなニュースを日のあたりに見た時、恐怖に脅え身の凍る思いでありました。

今回の事件に遭遇し、卑劣な犯罪行為によって尊い命を落とされた方々に哀悼の意を表しますと共に、負傷された人々の一日も早い回復並びに破壊された市街の復興を念願致しております。

当神社では新年を迎えるに当たり、注連縄の製作や境内の清掃など、迎春の準備に追われる毎日でございますが、職員一同、全国各地から初詣なされる崇敬者の方々に、清々しくご参拝頂けるよう努力致しております。

最後に世界の平和と皆様の御健勝を心より祈念申し上げます。平成十四年が佳き年でありませうお祈り致します。

宮 司 三 浦 篤



例祭に於ける舞楽の奉納

『神様の「りやく」』

神さまがどんなに偉大な存在であっても、人間や生物に何の利益ももたらさなければ神を信じ、神に祈ると云うことは無意味なことになります。ご利益と云うものは、言い替えば神の恩恵といつてもよいでしょう。人間は神さまの恩恵を信ずればこそ神を信じその恩に報いようとするのです。

神さまを信じない人間は、当然その恩恵など信じはしない。キリスト教で言えば「十字架」はとても神聖なものであり且つ絶対的な信仰の対象なのですが、キリスト教を全く信仰しない人から見ればそれは単なる物体にしか見えなから、足で踏みつけても一向に平気でいられるが、キリスト教の信者から見ればそのような行動は絶対に出来ないものです。なぜならば、それはキリストの神を信じ切



っているからなのです。

神さまは何と言ってもこの世界や人間をつくり、その人間を救いたいと云うのが本音であると思う。「救う」とはつまり利益を与えると云うことにつながるのです。

神さまのご利益は、人間が信じようと信じまいと、そんなことには関係なく万物に平等に与えられるものなのであります。

だからと言って神さまに祈ったら、それだけでご利益が得られると思うのは、あまりにも虫がよすぎるのではないのでしょうか。常日頃から神さまを信じてもない者が、人間のはかりごとで解決がつかないからと云って急に神さまに祈ってみても、神さまはそんな祈りには応えられないでしょう。

これは人間同士でも同じことが言えます。もし顔も名前も知らない人が家へ訪れて来て、千円貸してくれと頼まれても大抵の人は断るでしょう。まあすこしぐらいだから目をつぶって貸してやろうというのは余程奇特な人だと思います。

商売をしていて運転資金が不足して、五百万円とか一千万円の大金を借りたいときは銀行へ行きますが、銀行は十分に相手の信用調査をし、最終的にはその人の普段の生活や行動を判断して、この人なら信用できると云うときに初めて貸し出しをします。いくら調子の良いことを並べても、それだけで銀行はお金を貸してくれるものではありません。これと同じで、常日頃神さまを粗末にしている人が、困ったときだけ急に神さまに祈ってみても、神さまは決して利益を与えることはしないでしょう。

大学を受験するに当たって、ろくに勉強もしないでそのときだけ神さまに一生懸命祈ってみても、まづ合格は無理だと思えます。

一方「やまい」にかかり病院暮らしをしている人が病状が悪化して、とうとう医師に見放されたから「神さま何とか助けて下さい」といつて急に神さまにお祈りをしたところで、神さまは今一度再検討の余地がある・・・と云われるかも知れません。

神さまのご利益は銀行の貸付と同じように、人間の日常の行為や

心の持ち方によって与えられる量が違うのです。普段の行為や心遣いが神さまの心に合致すればする程、神さまはその人に限りない利益を与え、神さまの心に背いた生活の続く人は、それなりの利益しか与えないことでしょう。又、やたら神さまに祈るのもあまり意味がないが、さりとして自分はいつとも正しい道を通っているから、神さまに祈る必要はないと云うのも思いつきでしよう。「心さえ神さまのところに叶うなら、祈らずとも神さまは守ってくれる」という意味の歌があります。これは一見もつともなように見えるが、正しい心であれば本当に神さまの心を知ることが出来る訳で、余計に祈らずにはいられないはず。何も自分の利益の為に祈る必要はなく、不幸な人や世の中の総ての人に、神さまの恩恵が与えられるように祈ってもよいのではないでしょうか。

ところでご利益というものは、現世の利益と来世の利益とに分けられます。現世利益とは、例えば病気が治るとか商売が繁盛するとか、難しい試験に合格すると云うような事柄があります。来世利益とは、こういう現実的で肉体的、物質的な利益を一切捨てて、人間の死後に常夜の国とか極楽などへ行くことを祈り、そこで永遠の幸福を願うものであります。

人間個々の生命は、何れ終末を迎えるわけですから、現世の利益ばかりに執着しないで、来世の利益も追求しようと云うのです。この思想は特に仏教の教えのなかに顕著に現れております。

現世利益、来世利益のどちらを選ぶにしても、常日頃順調に物事が進んでいるときは、つい神さまの心を忘れがちです。「困ったときの神だのみ」ではすでに遅いのです。

私たちはいつも神さまの恩恵を存分に享けているわけで、その恩恵に報いることは当然の行為なのです。神さまと共に生活し、神さまの心を自分の心に反映して、絶えず報恩の気持ちを持たない限り神さまから見放されるようなことはありません。たとえ人生の中で窮地に立たされた場合でも、きつと神さまは暖かい救いの手を差し延べて下さることでしょう。

禰宜 上松 雅之

ちよつと一言

こんにちは、社務所より一言申し上げます。

最近、当神社に参拝された方はご存知かとおもいますが、以前境内地にありました、ブランコ等が子供に危険な為、撤去しました。又、ごみ籠も神社の景観を損なうという事で撤去させて頂きましたところ、境内地に「ごみ」がほとんど出無くなりましたが、まだ少数の心ない人達が、たばこの吸い殻やジュースの空缶等を、境内や駐車場に捨てて行かれるのが現状です。

何の気なしに捨てた「ごみ」が神聖な神社の尊厳を損ねている訳で、これは参拝者各自のモラルの問題であります。

一人一人が気を付けて、ごみを出した持ち帰る習慣をつけてもらいたいものです。

清々しく綺麗な境内で参拝して頂き、気持ちよくお帰り頂きますようご協力を御願ひ申し上げます。

又、ご家庭に於いて御神前や御仏前に御供えされました榊や花等のご自宅にて処分して頂きますよう、重ねてお願い申し上げます。

権禰宜

高田 豊彦



祭事報告

▼西宮神社例祭（相殿） 七月十七日午後三時
▼末廣稻荷神社例祭 八月 五日 午後三時
昨年『末廣稻荷神社御鎮座五十年記念事業』

を済ませたばかりのお稻荷さんで、多数の崇敬者が御参列され、厳肅の内に祭典が行われました。また、同日午後六時から、氏子区域の子供達が境内で茅の輪くぐりを済ませたあと、子供達による夏祭りが行われ、威勢のよいかけ声が境内に響き渡っていました。

▼夏越大祓

八月 五日午後三時半
当日は、猛暑にもかかわらず多数の御参列をいただき、式次第通り神事を齎行いたしました。



した。

引き続き、お祓い所役を先頭に官司以下祭員・総代・参列者の順に茅の輪を左右左とくぐり、参道を参進し拝殿前にて二礼二拍手一礼にてお参りされ、終了いたしました。

▼長寿祈願祭

九月 十五午後四時
平成六年から行われて来た長寿祈願祭は今年で満八年となり、今年も地元、宇留生地区の長寿会連合会を中心に、喜寿以上の方々に多数御参列して頂き、崇敬者各位の長寿・健康を大神様に祈願いたしました。

▼神明神社例祭

十月 十七日午後三時
神明神社（境内社）は、天照大御神をお祀りいたし、伊勢神宮の神嘗祭に合わせて例祭を執り行っております。

当日は朝からの大雨の為、止むなく遥拝所にて祭典が執り行われました。

▼七五三参り

十一月一日～三十日

七五三参りは、日本古来の風習で「髪置き・袴着・帯解き」と子供の成長過程に節目をつけ、大神様の大前で子供の無事成長を報告し、大神様の御守護を戴き感謝申し上げます。今後一層の御守護を願う人生儀礼の一つです。

七五三は一般的には、数え年で参拝されますが、近年は数え年にこだわらず二歳から八歳の間に祈禱を受けられるお子様が増えてきております。

当社社では十一月の日曜日などは、晴れ着を着た大勢の子供達が両親や祖父・祖母に付き添われて参拝する姿がみられました。



▼崇敬会大祭

十一月 三日午後二時

年に一度の御首神社崇敬会会員の為の祭典であり、当日は全国各地から、雨天にもかかわらず大勢参集され、祝詞の中では会員の皆様の無病息災・生業繁栄・家内安全並びに子孫の繁栄を祈願し、参拝者一人一人の名前を大前に報告し、金幣串を御神前に奉って頂き、大祭を無事終えました。

▼新嘗祭

十一月二十三日午後三時

今年収穫された新穀をご神前に奉り、豊作の感謝を申し上げますと共に、今後益々のご神徳を戴くよう祈願致しました。又、祭典終了後岐阜県神社庁の日置江参事を講師にお迎えして二時間に亘る研修が熱心に行われ、終了後は多くの質問が飛び交い、大変有意義な時を過ごしました。

権禰宜 大野 弘樹

竣工祭について

地鎮祭に始まり、上棟祭など一連の建築に関する神事の最後に「竣工祭」があります。古くは九百年代に編纂された延喜式の中に見受けられる大殿祭（おほとこのほがい）と云い宮中の祭儀として起こり、神殿などが新築された時に新殿祭（しんでんさい）が斎行されたのが徐々に民間に広がってゆきました。

入居して家財道具を運び入れる前に、建物の各部屋を清々しく祓い清め、無事に家屋が完成したことをご神前に奉告すると共に、その家屋へ神様にお鎮まりを戴き、末永く安全堅固で良き建物として、行く先家屋に住む人々の繁栄を願うお祭りが竣工祭です。

一般住宅の場合は新宅祭・新室祭・家祓い等、地域によっても名称が異なりますが、最近では地鎮祭だけを行い、上棟祭や竣工祭を省略される方もおられるようです。

地鎮祭或いは起工式の際、ご神前で工事の安全を祈願したのですから、工事が無事に終わった時にも、神棚をお祀りし、感謝の気持ちで神様に報告すると共に、新居の清祓いをして、清々しい気持ちで入居するのが本来の姿なのです。又、マンションや建売住宅など多くの場合、建築業者が地鎮祭を行い、工事の安全を祈願する事が多いので、ご入居の際は尚更お祭りをいたしましょう。

さて、木の香も新しい部屋をお祓いして、

いよいよ引越しするのが一般的ですが、都合により引越しを一通り終えてからお祭りされても差し支えはありません。

また和室が無いからと、神棚のお祀りを遠慮されるご家庭もありますが、洋間・リビング等にお祀りされても結構かと思えます。

近年、建築様式の多様化で神棚を祀る場所に苦慮される場合もあります。尚、前向きに検討して頂き、神様のご加護を受けて頂きますようお願い致します。

尚、神棚を奉斎されるのに相応しい場所や方向がございますので、その時点でお近くの神社にお尋ね下さい。権禰宜 谷口 哲也



崇敬会入会のご案内

入会の方法

御首神社の御神徳に感謝し当社を崇敬される方は、どなたでも入会出来ますので御参拝の折、社務所にお申し出下さい。尚、郵便にても受付出来ますので、申し込み用紙を御請求頂ければ、お送りさせて頂きます。お申し込みされますと、神前にて入会報告祭が執り行われ、会員証・認定状等が交付されます。

会費（年会費）

- 一、個人会員 三千円以上お志し
- 一、家族会員 五千円以上お志し
- 一、特別会員 一万円以上お志し
- 一、法人会員 二万円以上お志し
- 一、名誉会員 三万円以上お志し

会員の特典（抜粋）

- 一、神前にて入会報告祭が執り行われます。
- 一、誕生日には特別祈祷が行われ、神符が授与されます。
- 一、春の例大祭、秋の禁敬会大祭には御案内申し上げ、大祭特別祈祷神符及びお供え等が授与されます。
- 一、夏越、年越大祓にはご案内申し上げます、ご祈祷致します。
- 一、参拝の折、会員証を御呈示になられますと、会員は昇殿参拝が許されます。

祭事案内

▼年越大祓 十二月三十日 午後三時
▼元日一祭 一月一日 午前〇時

新年を迎へ、国の隆昌と世界平和、氏子崇敬者の繁栄と幸福を祈り、元旦祭を斎行致します。引き続き病氣平癒・入試合格・勉学向上・健康・家内安全・商売繁盛等の御祈禱も行ってまいりますので、是非御参拝下さい。

▼左義長 一月十五日 午前十時
例年通り十五日に執り行います。一年間お祀りされました御神札・お守り・注連縄等をお焚き上げ致しますが、注連縄等の飾り物でプラスチックや釘等は外してお持ち下さい。尚、後始末の作業の為、午後三時頃には終了致しますので、早めに御参拝下さい。



▼浄火祭

平成十三年 二月三日 午前十時

年に参拝者が奉納された帽子や絵馬又御神前に奉られた金弊串、御祈禱の後お渡し致しました紅白串の心願成就を願ってお焚き上げる祭祀です。



当日に限り、祭典終了後に持参された帽子を直接火炉に入れて頂いても結構です。尚、ヘルメット等、有毒ガスの発生する恐れのあるものはご遠慮させて頂きますので御了承下さい。

- ▼祈年祭 二月十七日 午後三時
- ▼御鍬神社例祭 三月十七日 午後三時
- ▼例大祭 四月 二日 午後三時
- ▼南宮神社例祭 五月 四日 午後三時
- ▼お田植え祭 六月 初旬
- ▼農休み祭 六月十六日 午後三時

権禰宜 谷口 哲也

厄除開運祈禱

男子 大厄 二十五歳・四十二歳
女子 大厄 十九歳・三十三歳

古来より「大厄には諸々の災難、身体の変調のがれ難し」といわれ、年回りに当る方のみならず御家族にまでも災禍が及び何かとままならぬことが多くなります。前後三年間に渡り忌み慎まなければなりません。御祈禱を受け毎日を砧丁穩に過ごしましょう。

		平成14年 厄年に当る生れ年		
		前 厄	本 厄	後 厄
男子	42歳	昭和37年	昭和36年	昭和35年
	25歳	昭和54年	昭和53年	昭和52年
女子	33歳	昭和46年	昭和45年	昭和44年
	19歳	昭和60年	昭和59年	昭和58年

▼本年度崇敬会よりの奉納
一、御首神社 職一対
一、末廣稻荷神社職十対
以上有難うございました。

御首神社社務所

岐阜県大垣市荒尾町一二八三の一
TEL(〇五八四)九一―三七〇〇
ホームページ www.mikubi.or.jp
Eメール syannusyo@mikubi.or.jp